

京都府地震被害想定調査委員会  
地震動予測部会(活断層G、地震動予測G)

平成18年9月21日(木)10:45~  
京都大学理学部2号館111

議題		論点		資料	今後の方向性
議題1	起震断層候補の選定	断層設定の基本的考え方		資料1	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     パラメータの設定                      ・両端位置の確定                      ・傾斜角の設定                      ・深度の設定                      簡易法による地震動想定                      詳細地震動想定候補断層の選定                 </div>
		黄檗断層の終点	(案)宇治川北岸とする		
		井手断層 (奈良盆地東縁断層帯)	(案の1)城陽市~木津駅南東 (案の2)城陽市~桜井市		
		僧坊撓曲	(案)起震断層としない		
		男山東縁断層	南側(案)大大特側線まで 北側(案の1)淀川を渡らない 北側(案の2)金ヶ原断層と連続		
		生駒断層帯	(案)北側を交野断層とする		
		京都西山断層帯	(案)以下4つのセグメントに分ける ・殿田,神吉,越畑 ・諸畑,千歳,亀岡 ・榎原,水尾 ・光明寺,金ヶ原,(男山東縁)		
議題2	地下地盤のモデル化と地震動予測手法の方針	モデル化の方針と地震動予測手法	(案)府南部地域は波形計算を目指し、府北部地域は距離減衰式	資料2	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     追加調査の実施                      地下地盤モデルの補正                 </div>
		表層地盤モデル化			
議題3	府南部地域における地下地盤モデルの再現性の検証	卓越周期の検証	(案)概ね妥当と考える	資料3	
		実地震との比較	(案)以下のとおり評価 ・差分法で計算したところ、後続波を再現 ・長岡京,八幡,宇治田原,加茂,防災研で波形が不整合 ・宇治田原,加茂については,モデルを微調整し対応 ・長岡京,八幡については,追加H/Vを実施し調整 ・防災研については,調整が難しい		

地震動予測